

(1) 家庭・地域における子ども読書活動の推進

① 家庭における読書

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
1	リーフレットなどによる情報提供	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットなどを産婦人科、小児科医院などに配布することで情報提供を行う。 [152をご参照ください。]	継続	□	配布枚数		22年度に設置した赤ちゃん向け絵本の紹介リーフレットを活用してもらったため、23年度は新たに設置しなかった。	読書振興課・図書館
		リーフレットなどによる情報提供の機会として、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室を活用する。	継続	○			妊婦教室や父親教室での啓発により出産前から両親に子どもが絵本に触れ合うことの楽しさや大切さとともに、親子のふれあいの機会にもしてほしいことなどを伝えている。また、4か月児健診、1歳6か月児健診時だけでなく、転入者にも絵本リスト「えほんはじめまして」や「とよなかこども読書マップ」を配布し、身近に絵本やおはなしが楽しめ、地域のひととの交流の場として楽しめる場所のPRや啓発活動を実施している。	保健予防課
2	PTA連合協議会での子ども読書に関する情報共有	PTA連合協議会での会議などの場において、子ども読書活動の取組みを報告するなど、情報提供し、広くその活動について周知の機会とする。	継続	○			PTA連合協議会の会議の場で、子ども読書活動の取組みについて報告した。 保護者にアンケートでおすすめの本をあげてもらい、学校図書館にないものをPTAで購入して寄贈した学校もあった。	小・中学校 PTA連合協議会 読書振興課・図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取り組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
3	図書館のPR	おはなし会や絵本講座などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。	継続	○		実施	定例のおはなし会や子育てサロン、サークルなどへの出前講座で図書館が子育てを応援していることや絵本についての相談窓口であることを伝えている。またおもに1歳6か月児健診で配布している「とよなかこども読書マップ」でも身近に絵本やおはなしが楽しめる場として図書館のPRを行っている。	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアグループ
4	新一年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [138にも掲載しています。]	継続	○	配布枚数	41校	図書館のPRや利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法については今後、検討していく必要がある。	読書振興課・図書館
5	家庭への情報提供	図書館のホームページやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [106、137にも掲載しています。]	継続	○			テーマを決めて資料を集め市内の図書館を巡回する企画で、9月から「こどもの人権」をテーマとした。図書館HPでも紹介している。	読書振興課・図書館

② 地域における市民活動

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
6	子育てサロン・サークルでの乳幼児向けおはなし会および絵本講座の開催	校区福祉委員会で実施している子育てサロンおよび子育てサークルで子どもや子どもの読書に関する情報交流なども行う絵本講座や乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出しを行う。 子育てサロン38校区実施(24年3月現在) [99、127をご参照ください。]	継続	○	回数／参加人数	26校区	各校区で実施している子育てサロンにおいて、図書館担当職員やおはなしボランティアグループ、子育てサロンスタッフによる乳幼児向けおはなし会や絵本の選び方講座など実施している。	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 読書振興課・図書館
7	「地域子ども教室」	学校や図書館などで地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作などを通して読書や図書館利用を進める。	継続	○	回数／参加人数	2,128回／156,507人	市内41小学校区で週1回程度、子どもが地域の大人と交流しながら、学校では経験できない様々なことを学んだ。	地域教育振興室 読書振興課・図書館
8	講演会の開催	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。	継続	○	回数	1回	中豊島小学校で読み聞かせの意義や魅力を語り合う第10回「読み聞かせシンポジウム」(毎日新聞社、豊中市教職員組合主催、市PTA連合協議会共催)を実施した。当日は絵本作家の田島征彦さんの講演のほか、関岡香さん(毎日放送アナウンサー)による田島さんの作品の読み聞かせ、小学校校長、小学校司書、豊中子ども文庫連絡会副代表によるパネルディスカッションも行った。絵本と出会うこと、読み聞かせを通じて人と出会うことの豊かさ、大切さを話し合うことができた。	○小・中学校 PTA連合協議会 読書振興課・図書館
<p>・関岡さんの語り、唄、心にしみました。田島さんのお話はほのぼのとしました。戦争体験が作品のテーマをつらぬいていたのですね。焼夷弾にあたっておられたら『そうべえ』が発信する大阪の文化が伝わらなかった。伊根の子どもたちとの創作経過もすごくおもしろかったです。文庫の世話人さんの子育てと本、学校図書館司書さんがチャンスをキャッチして本を手渡し、子どもと本、人と人をつないでいる。お話の力は、人と人もつながる生きる力を育てているのですね。また明日から子どもたちと向かっていける力がわきました。</p> <p>・私は0才から3才の子どもに読み聞かせ活動をしています。また、地域の子育てサロンにもボランティアとして参加しているのですが、今日は田島先生やシンポジストの方々から「人と人がつながる」という言葉がよく飛び出し、まさに絵本の読み聞かせの原点だと思いました。とても参考になるお話が多く、参加してよかったです。(参加者アンケートより)</p>								
追加	子ども文庫の活動	取り組みの中で子どもや家庭に向けて、本の貸し出しや情報提供を行う。	継続	○	年間のべ利用者数	平成24年度より集計	地域の中で長年「子どもたちに良い本を」と地道な本の貸し出しや啓発活動を行っている。地域での子ども達の居場所、子育て支援の場としての役割も担ってきた。子どもが忙しくなり、なかなか文庫に足を運べなくなっている反面、乳幼児の利用が増えてきている。(平成23年度は豊子連所属の文庫によっては利用者数を集計していないところもあったので、平成24年度より実績に反映させることとする)	子ども文庫 豊中子ども文庫連絡会(豊子連) 読書振興課・図書館

追加	講演会・講座の開催	市民や子どもに向けた講演会やワークショップの開催。子どものそばにいる大人に絵本の楽しさや大切さを伝えるために作家を招いての講演会や子ども向けの催し、子どもの育ちに関する講座を行う。	継続	○	講座回数／参加人数	5回／118人	豊子連講座として「ミンダナオに子ども図書館を作った～本の力は未来を拓く～」と題して松居友氏によるフィリピンの難民社会と子ども図書館についての講演会。「ふたつの『てぶくろ』を読み解く」と題して田中友子氏によるロシアの絵本事情についての講演会を行った。「子どもと本のつどい」のアフリカの子ども本の話と共に、今年度は世界に目を向け、学ぶは機会となった。 「ふれあい講座」は3つの文庫が人形劇、「気持ちのワークショップ」、「ふるさと紙芝居」を行い、それぞれの地域の中で、子育て中の保護者の支援を行い、おはなしを楽しむ機会を持った。	○豊子連読書振興課・図書館
	『てぶくろ』は身近な絵本でしたが、とても深い背景があることに初めて気づかされ、大変面白かったです。・絵本の色彩が、その時代背景を表現していることを知り驚きました。絵本の持つ力、描かれ方によって時代を感じることができ、良かったです。(豊子連講座 田中友子氏講演会アンケートより)							

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取り組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
9	ボランティアセンター登録者への情報提供	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。	継続	○			月1回ボランティア登録者に送付する「ボランティア募集」でその都度情報提供を行うなど継続して実施している。	○豊中市社会福祉協議会読書振興課・図書館

読書環境の整備

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
10	絵本等の貸出	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出しができる環境を整える。	継続	○	校区数	9校区	講座やおはなし会など子育てサロン内での貸し出しを実施している。	○豊中市社会福祉協議会読書振興課・図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

◆〈実施計画の取り組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
11	グループ支援活動	公民館と図書館において活動しているボランティアグループやサークルが、相互に連携した取り組みができるよう交流を深める事業を行う。	継続	○			人形劇・パネルシアター等の登録グループが地域に出向いて、交流を深めている。(公民館) 学校で読み聞かせをする保護者向けに図書館で行う研修は、ほかの学校での活動の様子を知る機会にもなっている。(図書館)	公民館読書振興課・図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
12	子ども文庫活動への支援と連携・協力	長年にわたり、地域の中で子どもと本をつなぐ地道な活動を行っている子ども文庫に対して、市立図書館が団体貸出サービス、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などを行い、活動を支援する。また子育て支援事業の中で連携・協力(協働)する機会をつくり、子ども文庫の活動を広く市民に知ってもらえるようPRするとともに、活動場所の確保など、個々の文庫の活動を支援する。	継続	○	団体貸出冊数	4,986冊	豊子連所属の子ども文庫については、4か月児健診児、ブックスタート事業「えほんはじめまして」での図書館からの配布物のなかに「こどもぶんこのしおり」を入れてPRに協力している。また、そのほかの子ども文庫のPRチラシは依頼に応じて図書館内で配布した。「子どもと本をつなぐ地域交流会」で子ども文庫の活動の様子を写真を交えて紹介し、子どもと本に関わる市民や行政職員にPRすることができた。	子ども文庫 豊子連 読書振興課・図書館
13	豊中子ども文庫連絡会への支援と連携・協力	豊中子ども文庫連絡会は社会教育育成団体として補助金の交付を受けるとともに、図書館と共催して「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を行う。豊子連主催行事等では、図書館による後援と協力をを行う。 〔129をご参照ください。〕	継続	○	団体貸出冊数	4,661冊	豊子連の例会には図書館職員も参加し、情報提供や共有を行い「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を共催し、「ブックスタート事業えほんはじめまして」にも協働で取り組んでいる。 30周年を迎えた「子どもと本のまつり」は、例年、各コーナー盛況だが、今年度は特に高学年向けおはなし会の参加が多く見られた。多言語のおはなし会はペルシア語とルーマニア語でおはなしを楽しんだ。 「子どもと本のつどい」パート1はアフリカ子どもの本プロジェクトの協力で「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」と同プロジェクト代表の翻訳家さくまゆみさんに本とアフリカの子どもたちについての講演会をしていただいた。パート2ではきしわだ自然友の会に来ていただき、小学生向けワークショップ「チリメンモンスターを探そう!」を開催。 豊子連講座としては岡町図書館にて松居友氏と田中友子氏の講演会を行った。(26ページの「追加 講演会・講座の開催」をごらんください。)	読書振興課・図書館 豊子連

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
14	おはなしボランティア活動への支援	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [153にも掲載しています。]	継続	○	講座回数／団体貸出冊数	8回／15,379冊	「子どもと本をつなぐボランティア講座」受講者はここ数年減少しているが、退職後地域で活動を始めたいという受講者が増えている。男性の受講者もあり修了後活動を続けている。こうした受講者の変化やニーズに合わせて講座の内容を検討していく必要がある。(全6回のべ受講者数91人)「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」パート1では大阪国際児童文学館特別専門員川内五十子氏を招き、高学年の子どもたちへの読み聞かせテーマでご講演いただいた。パート2は、読み聞かせボランティアの間で挑戦する人が増えつつあるストーリーテリング(素話)について、長年地域で活動をしている野畑おはなしの会のメンバーに実演を交えてお話いただいた。いずれも公共図書館の司書も参加し、研修の機会とした。(2回受講者102人)今後も活動中のボランティアの悩みや興味にあった内容で引き続き開催していく。	読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
<p>・選書は毎回悩み、どれがよいか悪いかと苦戦していましたが、道が開けました。・絵本の持つ力、絵本のよさなどポイントを捉えてよく分かり楽しい内容でした。(フォローアップ研修講座パート1アンケートより)</p> <p>・少し前からストーリーテリングをはじめたのですが、なかなか難しいと実感しています。でも、今日のお話を聞いておはなしを語るのはとても素敵なことだと感じたので、これからがんばってレポートを増やしていきたいと思います。・ストーリーテリングの実演もすばらしく、楽しい時をすごささせていただきました。芽生えるかどうかは分からない種を子どもの心に植える、とのお話にも感動。ともに過ごしたおはなしの時間が誰かの心の中で育っていくかも、と考えるのはとても幸せなことだと感じました。(パート2アンケートより)</p>								
15	地域ボランティア活動推進事業	中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(放課後こどもクラブ)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 [68、88、154をご参照ください。]	継続	○	講座回数／参加人数	3回／31人	夏休みを利用して「高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座」を実施し、最終日には保育所での実践を行った。近年、高校生の受講者の減少が課題であったが、広報の仕方等を工夫することにより、4人の参加があった。講座終了後も、過去の受講生を加え、「絵本の読み聞かせボランティア」として地域子ども教室で読み聞かせを5回実施するなど、継続して活動できる機会を提供した。それにより、ボランティア同士の情報交換の場にもなった。 また、「とよなか地域教育コミュニティフォーラム」において、ボランティアが、読み聞かせの活動の様子や、自身の思いなどを発表した。市民に取り組みを紹介する機会となった。	地域教育振興室 読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
<p>「対象が学生にしぼっていたので、気負わず参加できて嬉しかったです。」「3日間でしたが、読み聞かせのノウハウの入門を学べ、実践までできて非常に充実した時間を過ごせました。」「ボランティアを通じて、同世代の人と知り合えるのも良いと思います。昨年の講座は大学生の女性ばかりでしたが、今回は男性の方や高校生もいて新鮮でした。」「(子ども教室での読み聞かせでは)絵本の読み聞かせのスキルを学ぶことができただけでなく、たくさんステキな絵本に出会えたこと、ステキなボランティアの仲間と出会えたことを嬉しく思います。」「(アンケートより)</p>								
16	市民活動への支援	子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。	継続	○			子育てサロンへ出向いて、乳幼児の保護者に対して絵本の楽しさを伝える取り組みを行った。子ども文庫に赤ちゃん絵本をまとめて貸出した。	読書振興課・図書館

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
17	「わいわい子育てミーティング」	年に1回子育てサークルの世話人が集まる機会となっている「わいわい子育てミーティング」の際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。	継続	○	回数／参加人数	1回／42人	24年3月1日実施。大人(子育てサークル、サロンスタッフ)34人、子ども8人が参加。手遊び、歌遊びの紹介のほか、図書館職員による絵本の読み聞かせのポイントなどの解説を実施。実際に読み聞かせも行う。	豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
18	小ネット研修・交流会(子育てサロンボランティアの研修・交流会)	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。	継続	○	回数／参加人数	1回／42人	24年3月1日実施。大人(子育てサークル、サロンスタッフ)34人、子ども8人が参加。手遊び、歌遊びの紹介のほか、図書館職員による絵本の読み聞かせのポイントなどの解説を実施。実際に読み聞かせも行う。(「わいわい子育てミーティング」内で開催)	豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
19	青少年指導者に向けての取り組み	指導者が集まる機会に、図書館の紹介をすることで、青少年活動での本の活用を広める。	継続	□	参加人数		団体指導者の研修等(年2回56人参加)で、青少年健全育成に関する書籍等の案内も行ってきたが、冊数が限られることやいぶき図書室の開室時間と研修の開催時間があわず今年度は案内ができなかった。図書室との連携充実を図る必要がある。	○青少年育成課 読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成23年度(2011年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
追加	妊婦教室での絵本案内	保健センターで開催される妊婦教室で赤ちゃん絵本についての話、赤ちゃん絵本の紹介、読み聞かせの実演、図書館の子育てサービスの案内を行う。 [126をご参照ください。]	継続	○			庄内図書館では23年度も保健センターが実施している妊婦教室で図書館の案内や赤ちゃん向け絵本の紹介をし、リーフレットを配った。	保健予防課 読書振興課・図書館